

## 環境にやさしい未来のまちづくり

時 期 いつでも

時 間 3時間

場 所 教室

- 環境に配慮したまちづくりの取組について知る。
- 「20年後の未来のまち」について考える。

### ねらい

**知 る** ・利便性を優先する私たちの生活を見直し、環境に配慮した暮らし方を考えさせる。

**行動する** ・「20年後の未来のまち」について考える活動を通して、自分にできる取組を考えさせる。

### 活動展開例 第5学年 総合的な学習の時間

準備物	・ワークシート「環境にやさしい未来のまちづくり（1）（2）」		
展 開	時 間	活 動 内 容	留 意 点
	2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちが住んでいるまちの課題について話し合う。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段 ・エネルギー ・ごみ</li> <li>・住宅 ・商業施設の立地 ・森林</li> <li>・資源 など</li> </ul> </li> <li>○環境モデル都市などの環境に配慮した取組について調べる。（北九州市・富山市など）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段 ・エネルギー など</li> </ul> </li> <li>○調べたことをもとに、「環境にやさしい20年後の未来のまち」について考えたことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性を優先するのではなく、環境の視点（地球温暖化、限りある資源、生物多様性など）から考えさせる。</li> <li>・「こども環境白書」をプリントし、資料として使うとよい。</li> <li>・インターネットを使う場合は、あらかじめリンク集などを作って短時間で調べられるようにする。</li> <li>・「交通手段について」などのように1つの視点でもよい。</li> <li>・自分たちだけではなく、みんなが暮らしやすいまちという観点で考えさせる。</li> </ul>
	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことをもとに、「環境にやさしい20年後の未来のまち」について考えたことを発表する。</li> <li>○環境を守るために自分ができることを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの取組を考えさせる。</li> </ul>

高学年



活用ガイド

○実施上の工夫

- ・他の学習プログラムと関連して実施する方法もある。  
 関連：「地球温暖化」  
 「身近にあるエネルギーを利用してみよう」

- ・第5学年 国語「パネル討論をしよう」のテーマとしても活用できる。

○活動にあたって参考となるWebサイト

- ・「こども環境白書」 <http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/kodomo.html>  
 環境省のWebサイトから「こども環境白書」がダウンロードできる。

【環境モデル都市】

環境モデル都市とは、温室効果ガスの大幅削減を目標に掲げて低炭素社会実現に向けてチャレンジしている都市のことで、国が選定し支援している。2012年現在、右図の13都市が選定されている。

大規模都市，地方中核都市，小規模市町村，東京特別区があり，それぞれ地域の特性を活かした取組が行われている。



出典：環境モデル都市構想Webサイト

【取組例（下川町）】

北海道上川郡下川町は，2012年現在，人口約3900人，総面積644km<sup>2</sup>。町面積の90%が森林となっている。役場や消防署などの公共施設を1つの森林バイオマスボイラーでつなぎ，これまで捨てられてきた間伐材などを暖房に活用している。また，成長が早い「ヤナギ」をエネルギー作物として栽培している。

【取組例（富山市）】

富山市は，2012年現在，人口約42万人，総面積1242km<sup>2</sup>。全国でも自動車依存度が著しく高い都市（一世帯あたりのガソリン消費量2位）である。LRTを中心とした公共交通ネットワークを拡充し，街中居住の促進等により，歩いて暮らせる町「コンパクトシティ」の実現を目指している。



富山のLRT「ポートラム」  
 出典：富山市Webサイト

【取組例（北九州市）】

北九州市は，人口約99万人，総面積488km<sup>2</sup>。工業都市として深刻な公害を克服した実績をもっている。工場の屋根や公共空間にソーラーパネルを設置し，大規模な太陽光発電事業を行っている。また，工場で発生する水素を回収し，コンビニエンスストアやレストランの店舗・水素燃料自動車の燃料として活用している。

高学年



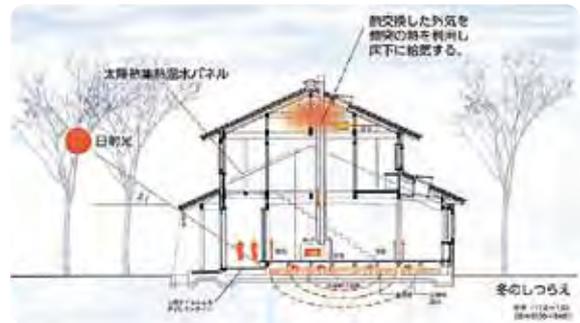
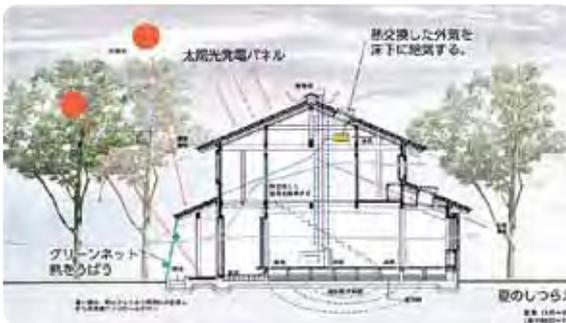
【エコモデルハウス】

エコハウスとは、地域の気候風土に合った自然エネルギーを活かし、地域の材料を使うなど、環境に負担をかけない方法で建てられた住宅のことをいう。全国で選ばれた20の自治体が環境省の補助金を受け、エコハウスに対する理解を深めるためにモデルハウスを建築している。

栃木県では、矢板市道の駅にエコモデルハウスがある。太陽光発電を行い、春・夏・秋は風を取り入れ快適な空間をつくり、冬は太陽熱を貯めて暖房に利用するなど季節ごとの自然力を活かす工夫がされている。



出典：道の駅やいたエコハウスWebサイト



出典：道の駅やいたエコハウスWebサイト

○活動の様子

この取組いいね！



本プログラムの作成において参考とした文献やWebサイト

- 「こども環境白書」 環境省 (2012, 2011)
- 「環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」 環境省
- 環境省総合環境政策局 <http://www.env.go.jp/policy/>
- 「エコハウス21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」 環境省 <http://www.env.go.jp/policy/ecohouse/>
- 環境モデル都市構想～未来へのまちづくり <http://ecomodelproject.go.jp/>
- 富山市 <http://www.city.toyama.toyama.jp/>
- 「道の駅やいた エコハウス」 矢板市 <http://www.yaita-eco-house.com/>
- 「このゆびとまれ！エコキッズ」 EIC ネット <http://www.eic.or.jp/library/ecokids/>

高学年



## 環境にやさしい未来のまちづくり(1)

月	日( )	名前	
---	------	----	--

○自分たちが住んでいる市や町の課題は、何でしょうか。みんなで考えましょう。

○環境にやさしいまちづくりへの取組を調べましょう。

高学年



## 環境にやさしい未来のまちづくり(2)

月 日( )	名前	
--------	----	--

○環境にやさしい20年後の未来のまち

高学年

